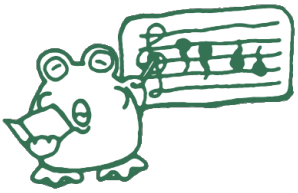
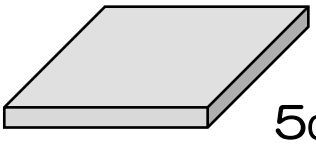


水底に静止するローソク！

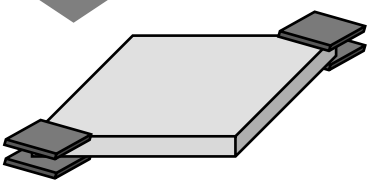
－アクリル板を使った応用実験－

広島仮説サークル・いどの会

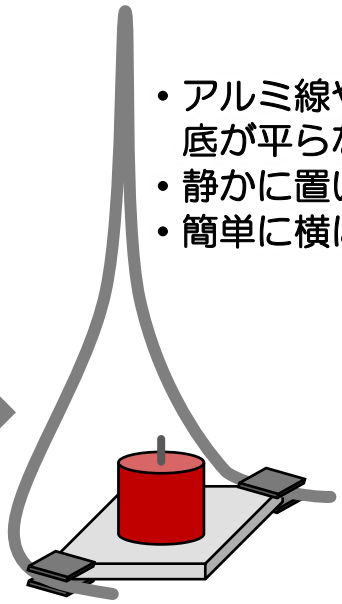
2022年６月版



5㎝角アクリル板

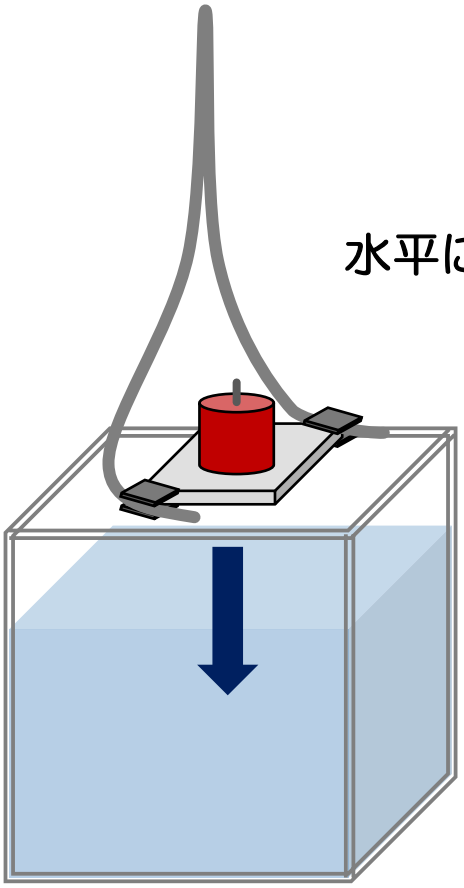


- ステンレス製クリップを対角に取り付ける
- 表面の汚れや水滴をとる

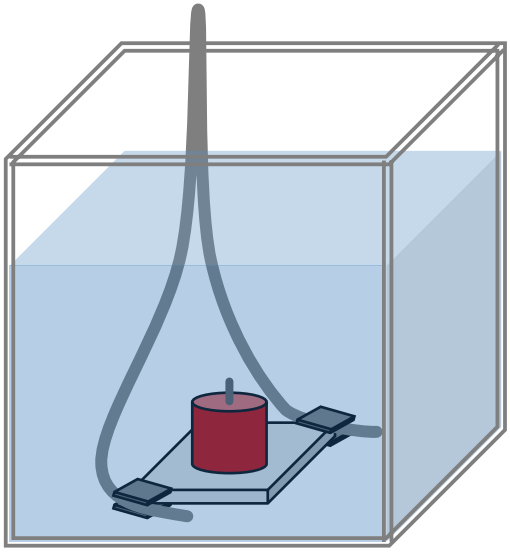


- アルミ線や針金の取手を付け底が平らなローソクを載せる
- 静かに置いて 押し付けない
- 簡単に横に動くことを確認！

水平にした状態で静かに水中に沈めると
浮かないまま 水底まで到達！

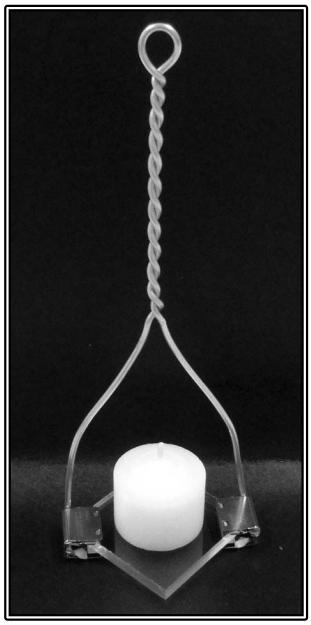


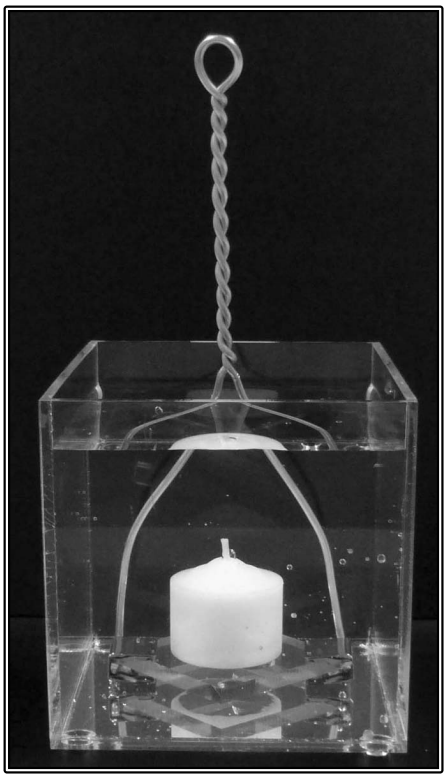
水を入れた容器
バケツ，洗面器，ボールなど



- 横に倒した状態では 沈める途中で浮かぶ
- ローソクの底に水はほとんど入っていない
（水が染み込んだ部分は少し暗くなる）

実験例





- 亀山ローソクのボーティブ（小）の
  底の金属製の芯押さえを外した後
  ハンダゴテでローソクの底の芯を押し込む
- 別のローソクを溶かして穴を塞ぐ
- 紙やすり（1000番）で 底を平らに削る
- テーブルの上に置いたコピー用紙の上で
  底を擦り さらに平らに,する
- アルミ線の取手をクリップで付けた
  アクリル板上に ローソクを載せる

浮かないまま
水底まで到達！

さて どのくらいの時間
静止したままでしょう？

この実験は 2022年初めから「広島仮説サークル・いどの会」の
月例会で議論し オリジナルなアイデアを加えて作り上げたものです。
アクリル板を使ったこの応用実験は 2022年6月に開発しました。
アクリル板の下から ローソクの底の様子を確認できます。
実験法の作成に貢献した会員は 有森康平，入江洋一，鶏内博之，佐伯俊典，
高田準一郎，田坂 昭，辰見伸二，田中一秀，山住 章，小池 透です。
この実験が 子供たちの「正しい自然観」を育む一助となれば幸いです。

連絡先： 小 池　 透
e-mail: tkoike1689@gmail.com